

オメガ型・Lオメガ型止水ジョイント

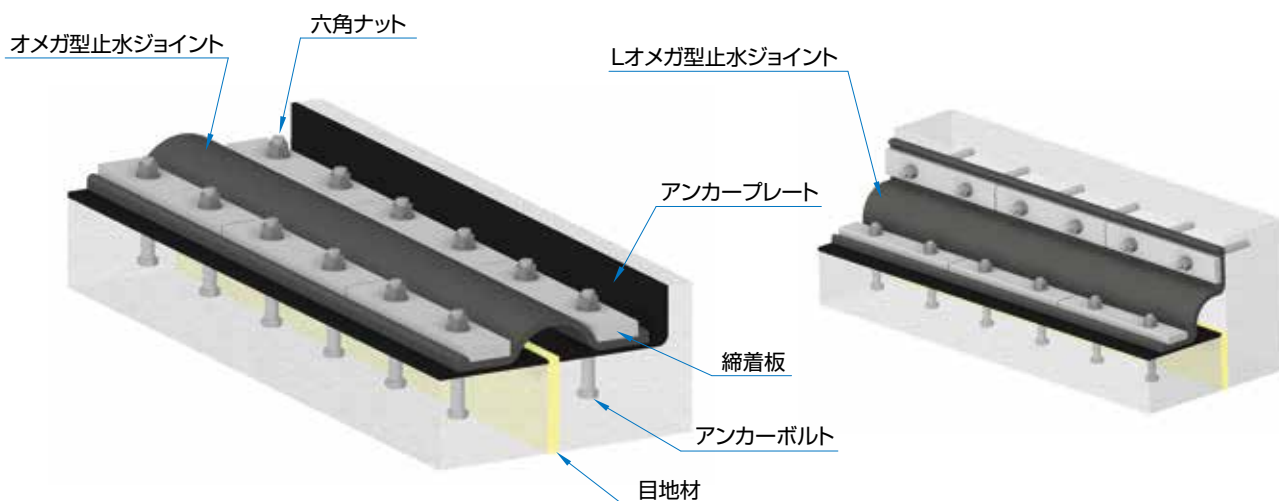
汎用タイプ

はじめに

昭和49年に日本初の沈埋トンネル用可撓性接続装置を開発し、その技術を基にオメガ型止水ジョイントを昭和50年に発売しました。それ以来、樋門、共同溝、洞道、原子力発電所など各種構造物間の不等沈下や伸縮を吸収すると同時に完全な止水接続装置として、数多くの使用実績を持っています。

平成7年に発生した阪神淡路大震災以降、各地で数多くの震災に見舞われ、レベルⅡ対応の設計が要求されています。特に都市部では地下開発により、ビルや駅舎間の連絡通路や連絡通路のバリアフリー化に伴う耐震接続装置として多岐に渡り使用されています。

構造



オメガ型

形状	型 格	伸縮量	許容耐水圧			タイプ	寸 法	
			低水圧 $P_w \leq 0.1\text{MPa}$	中水圧 $0.1 < P_w \leq 0.15\text{MPa}$	高水圧 $0.15 < P_w \leq 0.3\text{MPa}$		a	t
	30用	30mm	○	—	—	B=240	160	10
	50用	50mm	○	—	—	B=240	160	10
			○	○	○	B=330	220	14
100用	100mm	○	○	○	B=300	190	14	
		—	—	○	B=590(※)	480	16	

注) ※は沈埋トンネル仕様です。*耐水圧0.3MPa以上については別途ご相談下さい。

L オメガ型

形状	型 格	伸縮量	許容耐水圧			タイプ	寸 法	
			低水圧 $P_w \leq 0.1\text{MPa}$	中水圧 $0.1 < P_w \leq 0.15\text{MPa}$	高水圧 $0.15 < P_w \leq 0.3\text{MPa}$		a	t
	50用	50mm	○	○	—	B=218	163	14
	100用	100mm	○	○	—	B=205	150	14

オメガ型・Lオメガ型止水ジョイント

特長

1. 構造物間の不等沈下や伸縮をオメガの形状変形により吸収する。
2. ジョイント締着部止水凸条を圧縮することにより、完全止水できる。
3. ゴム材はクロロブレン系合成ゴムを使用している為、耐候性、耐久性に優れている。
4. 中・高水圧タイプは補強繊維を含芯し、耐水圧性能を向上させている。

ゴム材料の物理的性質

項目	単位	規格値	試験値	試験方法	
硬さ	---	A60 ± 5	A60	硬さ試験 JIS K 6253	
伸び	%	350 以上	470	引張試験 JIS K 6251	
引張強さ	N/mm ²	16 以上	17.4	引張試験 JIS K 6251	
老化試験	硬さ変化	---	0 ~ +7	空気加熱老化試験 JIS K 6257 (70℃ × 96h)	
	伸び変化率	%	- 30 以上		- 6
	引張強さ変化率	%	- 20 以上		- 3
圧縮永久ひずみ	%	30 以下	17	圧縮永久ひずみ試験 JIS K 6262 (70℃ × 24h 25%圧縮)	
耐水性 (質量変化率)	%	5 以下	2	浸せき試験 JIS K 6258 (23℃ × 168h)	

(社内規格)

オメガ型・Lオメガ型止水ジョイントに使用する鋼材は、JIS 規格品を採用しております。

施工例



オメガ型止水ジョイント



Lオメガ型止水ジョイント



東京ファブリック工業株式会社

支店

札幌 盛岡 仙台 宇都宮 新潟 東京 横浜 名古屋
金沢 京都 大阪 高松 広島 福岡 鹿児島



お問い合わせ先

本店

〒163-0429 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル29階
URL : <https://www.tokyo-fabric.co.jp/>